

HA8000シリーズ ハードウェア アーキテクチャーガイド (2003年12月～出荷モデル)

本アーキテクチャーガイドの注意事項について

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- 本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、ご連絡頂けますようお願いいたします。
- 本書の内容については ハードウェアの基本ブロック図の記載のみです。

登録商標・著作権

Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium®, Xeon®, Celeron®は、Intel Corporation.の商標または登録商標です。
登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

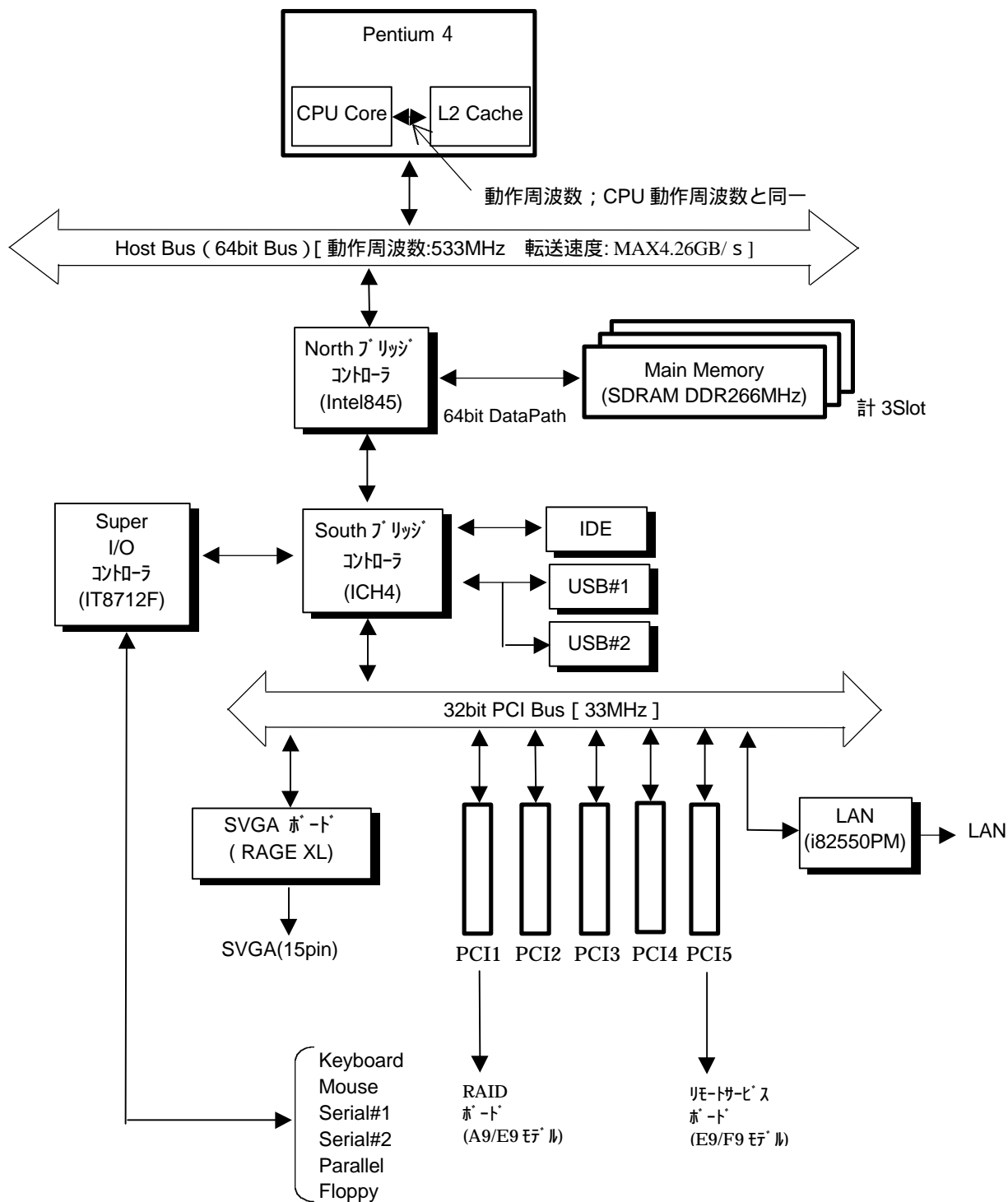
本書では以降、

Microsoft® Windows Server™2003, Standard Edition を Windows Server2003, Standard Edition に
Microsoft® Windows Server™2003, Enterprise Edition を Windows Server2003, Enterprise Edition に
Microsoft® Windows® 2000 Server Network Operating System を Windows2000 Server に
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server Network Operating System を Windows2000 Advanced Server に省略させていただきます。

HA8000/20W アーキテクチャー

HA8000/20W A9,B9,E9,F9 には以下の特徴があります。

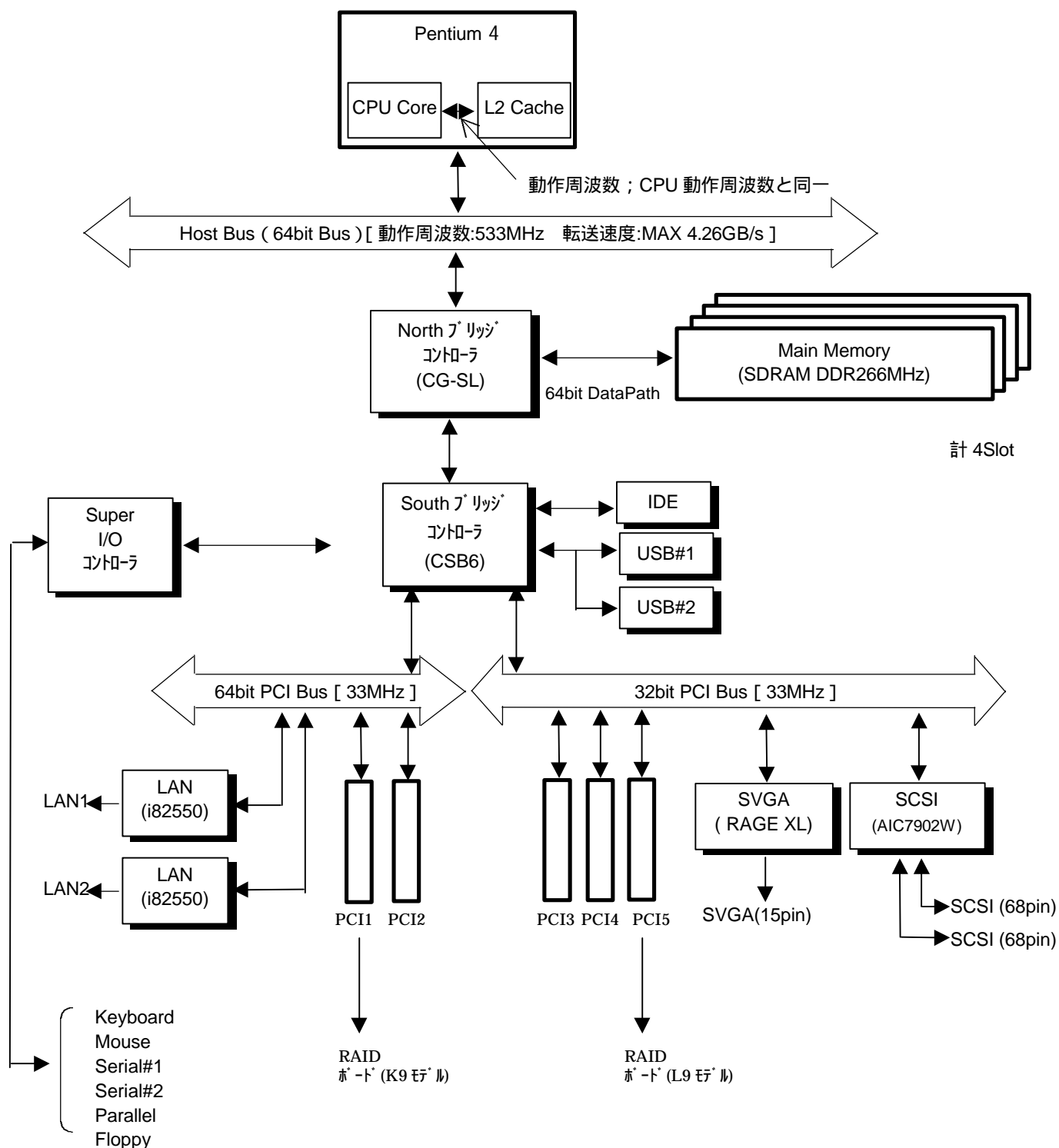
- Intel 社製 Intel845E チップセット採用による 1way システムの実現
- Pentium 4 プロセッサ(3.06/2.80/2.66GHz)の採用
- FSB533MHz、SDRAM ECC DDR266 Unbuffered DIMM 採用による高速 I/O の実現
- メインメモリーを最大 2GB 搭載可能
- リモートサービスサーバモデルの設定
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に 2 つの CPU のように動作させることが可能。[Pentium 4 プロセッサ(3.06GHz)のみ]



HA8000/70W アーキテクチャー

HA8000/70W K9, L9, M9 には以下の特徴があります。

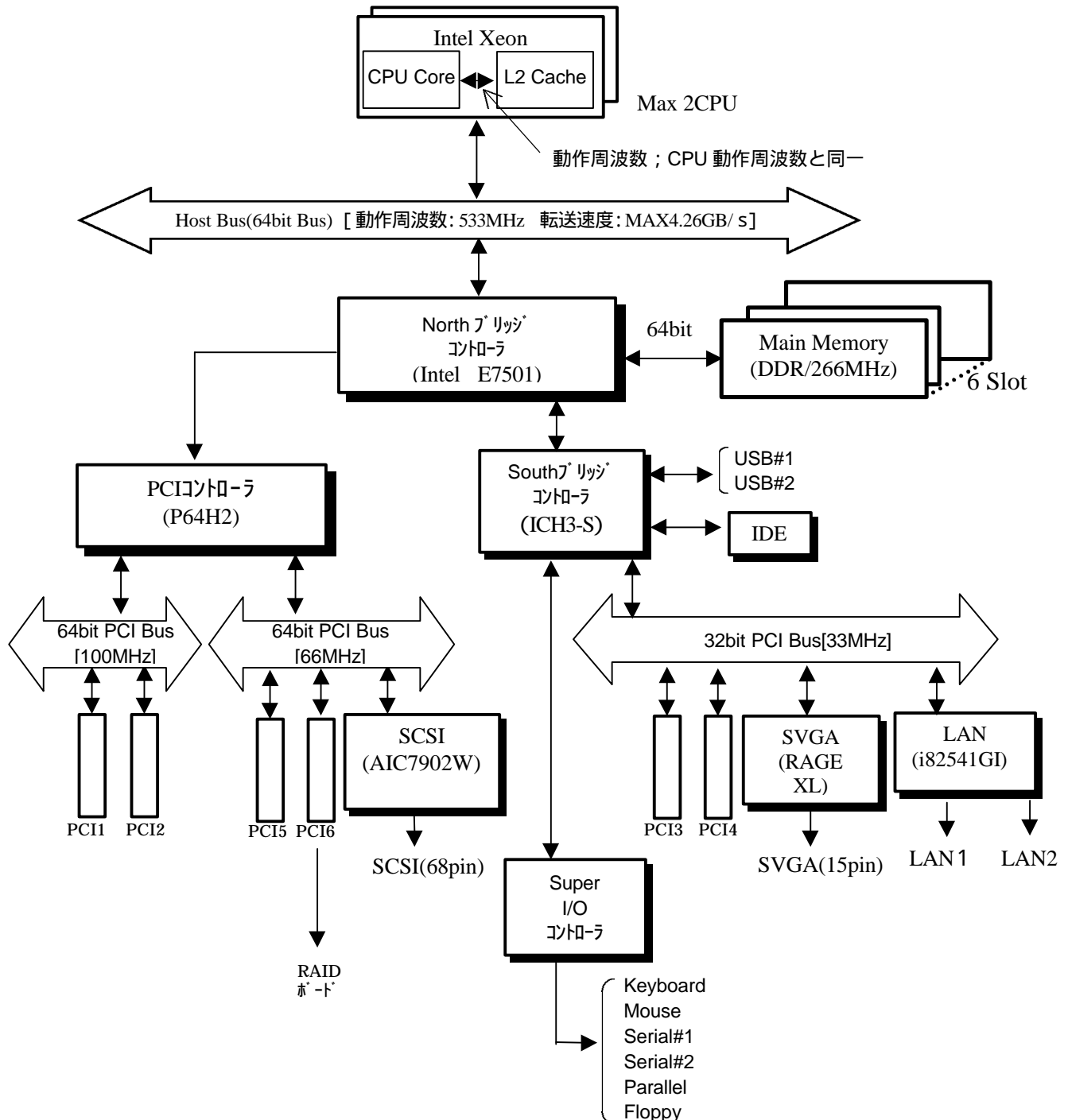
- ServerWorks 社製 Grand Champion SL チップセット採用による 1way システムの実現
- Pentium 4 プロセッサ(3.06GHz/2.80GHz/2.66GHz)の採用
- FSB533MHz、SDRAM ECC DDR266 Registered DIMM 採用による高速 I/O の実現
- メインメモリーを最大 4GB 搭載可能
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に 2 つの CPU のように動作させることが可能。[Pentium 4 プロセッサ(3.06GHz)のみ]



HA8000/70W アーキテクチャー

HA8000/70W P9 には以下の特徴があります。

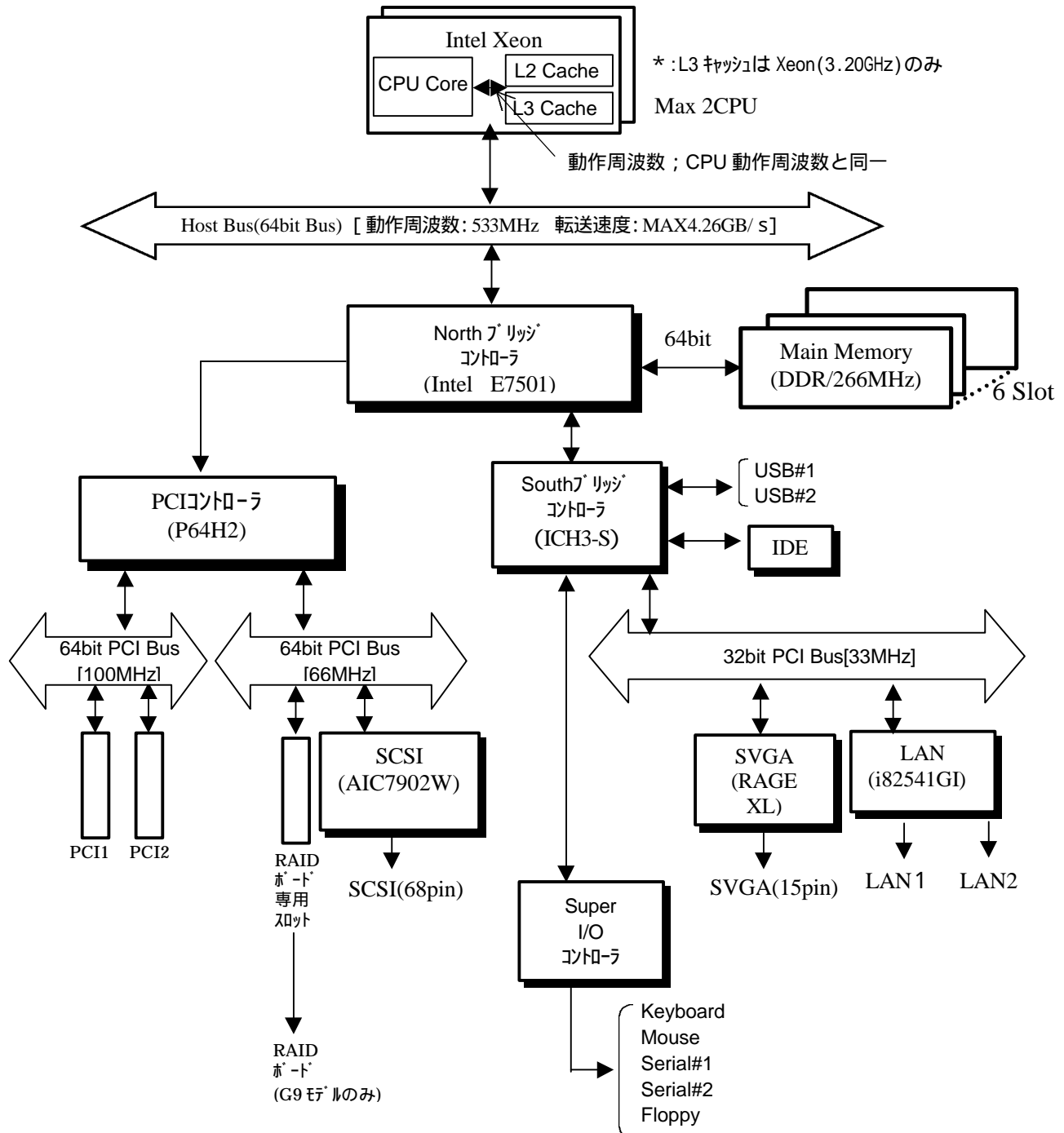
- Intel 社製 E7501 チップセット採用による 2way システムの実現
- Intel Xeon プロセッサ (3.06GHz/2.80BGHz/2.40BGHz)の採用
- ホストバス動作周波数が 533MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する 266MHz の DDR DIMM 採用により、最大 4.26GB/秒の高速なデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現
- メインメモリーに Chipkill メモリー機能をサポートし最大 12GB 搭載可能 (サポートメモリ容量 512MB(256MB ボード × 2)においては chipkill 機能は未サポート。)
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に 2 つの CPU のように動作させることが可能。



HA8000/110W アーキテクチャー

HA8000/110W G9,H9 には以下の特徴があります。

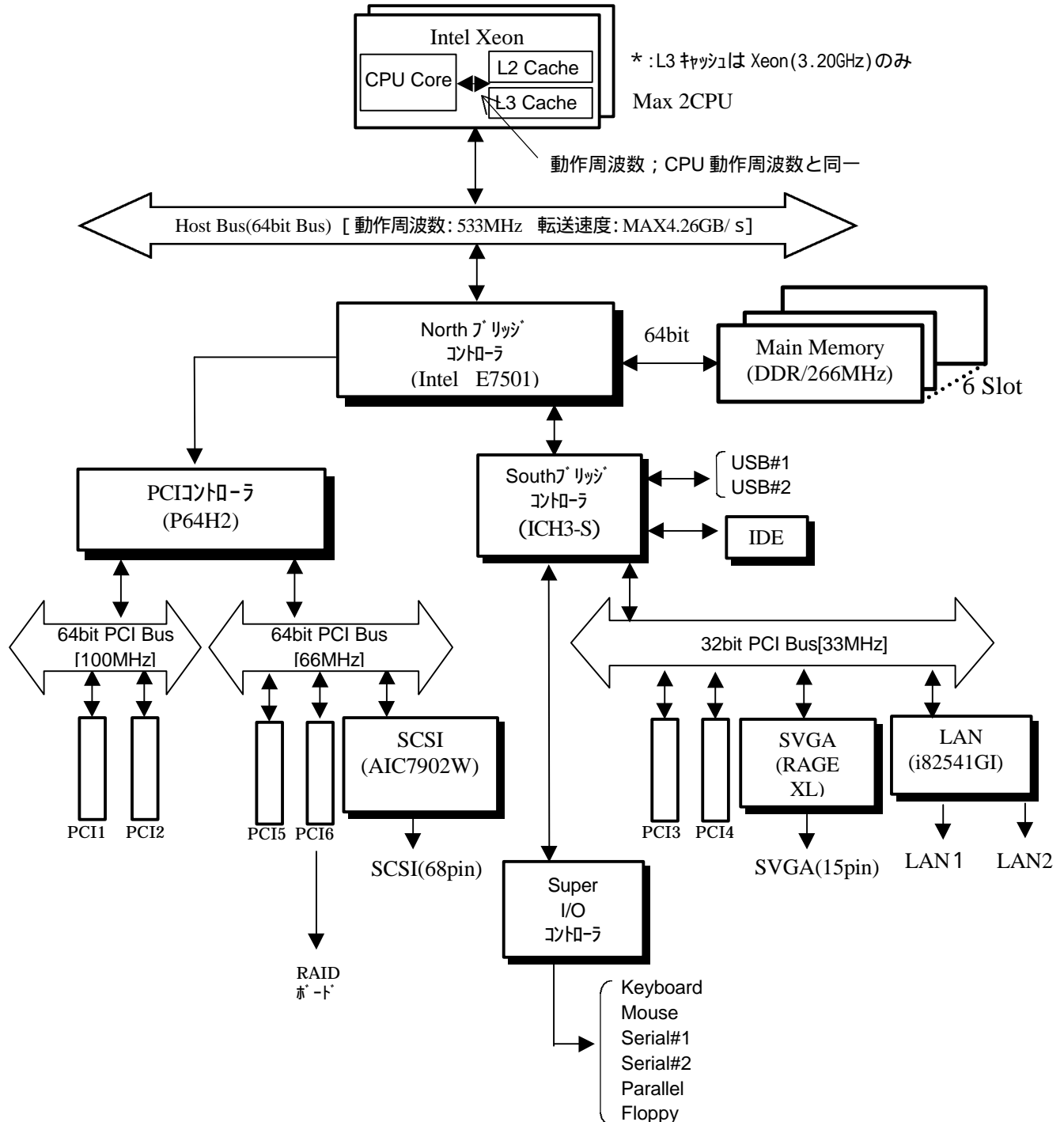
- Intel 社製 E7501 チップセット採用による 2way システムの実現。
- Intel Xeon プロセッサ (3.20GHz/3.06GHz/2.80BGHz/2.40BGHz)の採用。
- ホストバス動作周波数が 533MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する 266MHz の DDR DIMM 採用により、最大 4.26GB/秒の高速なデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現。
- メインメモリーに Chipkill メモリー機能をサポートし最大 12GB 搭載可能。
(サポートメモリ容量 512MB(256MB ボード × 2)においては chipkill 機能は未サポート。)
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に 2 つの CPU のように動作させることが可能。



HA8000/130W アーキテクチャー

HA8000/130W A9,B9 には以下の特徴があります。

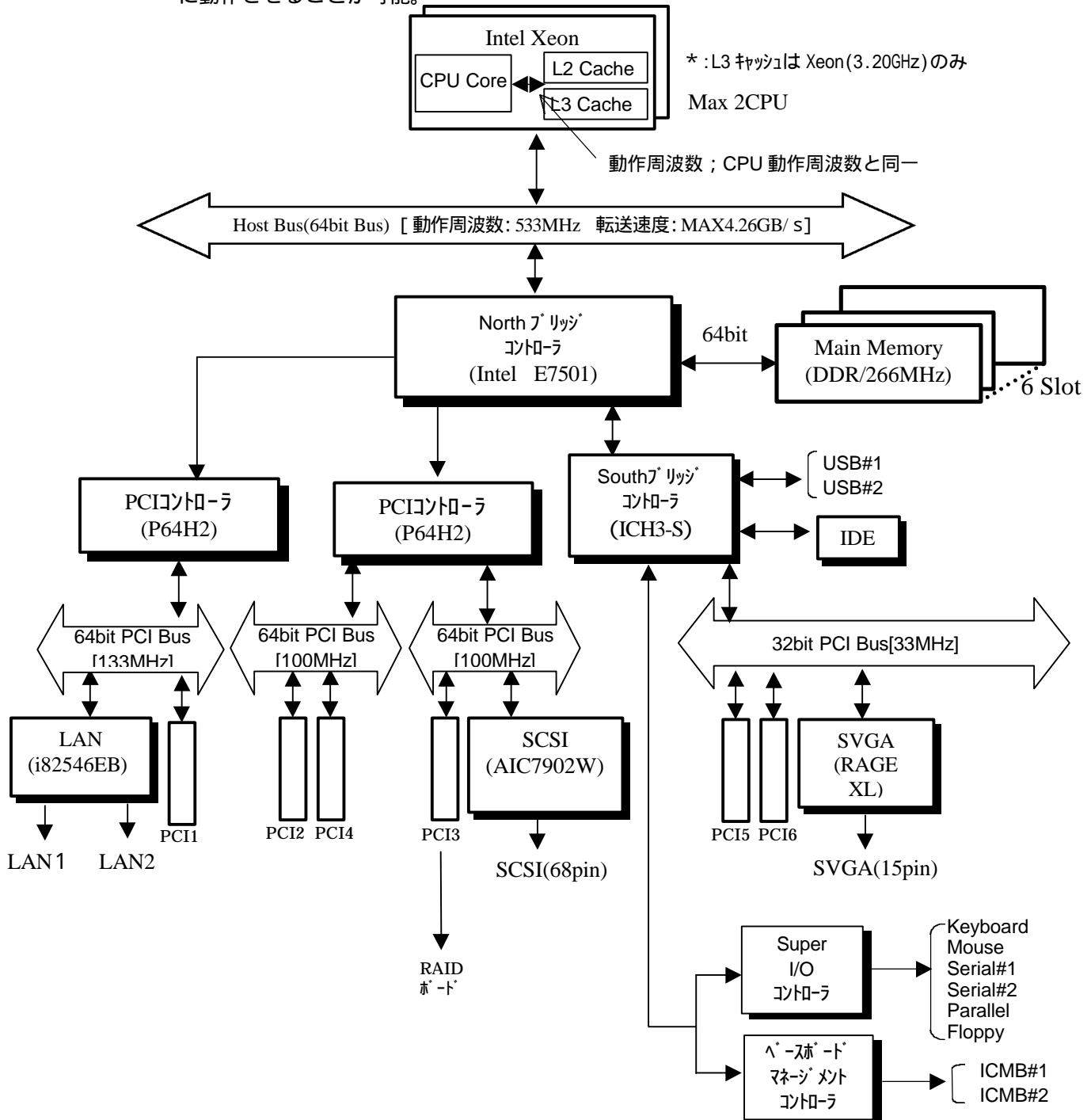
- Intel 社製 E7501 チップセット採用による 2way システムの実現。
- Intel Xeon プロセッサ (3.20GHz/3.06GHz/2.80BGHz/2.40BGHz)の採用。
- ホストバス動作周波数が 533MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する 266MHz の DDR DIMM 採用により、最大 4.26GB/秒の高速なデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現。
- メインメモリーに Chipkill メモリー機能をサポートし最大 12GB 搭載可能。
(サポートメモリ容量 512MB(256MB ボード × 2)においては chipkill 機能は未サポート。)
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に 2 つの CPU のように動作させることが可能。



HA8000/270 アーキテクチャー

HA8000/270G9,H9 には以下の特徴があります。

- Intel 社製 E7501 チップセット採用による 2way システムの実現。
- Intel Xeon プロセッサ (3.20GHz/3.06GHz/2.80BGHz)の採用。
- ホストバス動作周波数が 533MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する 266MHz の DDR DIMM 採用により、最大 4.26GB/秒の高速なデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現。
- メインメモリーに Chipkill メモリー機能をサポートし最大 6GB 搭載可能。
(サポートメモリー容量 512MB(256MB ボード × 2)においては chipkill 機能は未サポート。)
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に 2 つの CPU のように動作させることが可能。



HA8000/270 アーキテクチャー

HA8000/270A9,B9 には以下の特徴があります。

- ServerWorks 社製 Grand Champion HE チップセット採用による 4way システムの実現
- Intel Xeon プロセッサ MP (2.80GHz/2.50GHz/2GHz)の採用。
- ホストバス動作周波数が 400MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する 200MHz の DDR DIMM 採用により、最大 3.2GB/秒の高速なデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現。
- メインメモリに Chipkill メモリ機能をサポートし最大 12GB 搭載可能。
(サポートメモリ容量 512MB(256MB ボード × 2)においては chipkill 機能は未サポート。)
- メモリ障害時スエアバンクに切り替えて動作を継続可能なオンラインスエアメモリ機能をサポート。
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に二つの CPU のように動作させることが可能。

